



第 8 4 号

令和6年3月10日

発行所
寒沢公民館
責任者
鈴木 博久
編集
広報部
印刷所
北信ローカル



年頭にあたり

令和五年度 寒沢東区長
鈴木 幸男

新年を迎え、区民の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。昨年度中は区の事業に何かとご理解、ご協力を賜り大変ありがとうございました。皆さまもすでにご承知の通り、約2年余り行われてきました中電の鉄塔立て替え工事も昨年の暮れで全て完了いたしました。同時に、工事のために

設置されました拡幅道路も一部の路線を除き、近隣の方々の要望通りそのまま町道として利用できるようになりました。拡幅された用地を提供いただいた地権者の皆様に改めて感謝申し上げます。さてこれまでではコロナ、コロナで区の行事も縮小、延期、中止といった形態を

とってきた訳ですけど、大分コロナも下火になり今年度は出来る限りの行事、催しが行える方向を保って行きたいと考えております。最後に元旦早々に能登半島で大規模地震が発生しました。幸いなことに当地区においては然たる影響も無く、普段通りに生活してましたが、こうした大規模災害はいつ、どこで発生するかわかりません。今回の地震を教訓にこれからはひとりひとりが常に考えて行かなければいけない重要な問題なのではないでしょうか。あらためて寒沢区の事業にご協力をいただきたく、今年もよろしくお願いいたします。

中部電力鉄塔建替工事完了

寒沢東区副区長
鈴木 昌道

令和4年5月、仮設道路工事から始まった中部電力の鉄塔建替工事が、令和5年12月末には、全ての鉄塔組立と電線張替工事が完了しました。老朽化した鉄塔の建替を目的としていて、一番高いものは（佐野堺の尾根）66・5m、一番低いものは（近道）51・5mで、9基から5基になりました。



が電線を張ったり、山の上に資材を運んだりという想像と違ってモノレールで資材を運び、巻き取り機や滑車を使って材料を高い所へ吊り上げて、職人さんが高い所で組み上げたり、電線を張ったりするのを感じて見ていました。

区民の皆様には、道路の通行などでご不便をおかけしましたが、ご協力頂き有難うございました。

令和5年度の不盡野神社の行事も関係各位のご協力をいただけて滞りなく実施してまいりました。4月の祈年祭、9月の例祭、11月の新嘗祭と、片山宮司に祝詞をいただき区の発展繁栄、五穀豊穡と崇敬者の皆様のご健康を祈念しております。ただ、9月の例祭はコロナ前の様に獅子舞、神楽、門灯籠に大旗を掲げ盛り上がるには至りませんでした。3年間のブランクはお祭りに限らずですが、「元通り」にはまだ時間が必要と感じた1年間でした。

12月に参加した大被祭では片山さんが宮司をされている他の8つの神社の氏子総代と交流の機会がありました。やはりコロナの影響によって余興が再開でき

不盡野神社 氏子総代あいさつ

東氏子総代 山本 透



観点から昨年並みに喜寿・米寿の方々に祝詞と記念品を主事永池茂さんと2人でお配りしました。家の草取りをされている方もおり、皆さん笑顔でお元気でした。該当された方は、

米寿	中山ノリ子
米寿	望月サダノ
喜寿	鈴木 照康
喜寿	木部 明寛
喜寿	木部都茂子

高圧電線鉄塔工事 道路拡幅

湯本 市蔵



工事で、クレーン車・大型トラック等が入るため狭

い町道を拡幅する必要が生じ、借り上げで工事用に道路が拡幅されました。せっかく広がったこの道路をなんとか残していただきたいと要望が出され、町、寒沢区、寒沢東区そして中電のご理解と協力を得て、地権者が拡幅分を町に無償譲渡し、その土地補償料と登記の地元負担を区が負担することを実現できました。

特に県道から西脇橋までの町道上野堀ノ内線は、寒沢区の共通路線で拡幅改良が難しかっただけに、本当に良かったと思っています。関係者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



還暦を迎えて

鈴木 梢

還暦を迎えた誰もが
そう思うのでしょうか、
私も「あれ？いつの間
に？」60年って結構長い
のに、何をしてたのか
な？」と…。

まずは現在、健康で
元気に働けていること
に感謝、丈夫に産み育
ててくれた両親に感謝、
そして、今まで受け支
えてくれた周りの温か
い人たちに感謝：還暦
後の人生の方が明らか
に短かくて、年齢を重
ねることは、体力の衰
えなど、悲しさや辛さ
もありますよね。

還暦になりました

鈴木 勝一

新潟地震の日に生ま
れ、甲辰の年、還暦を
迎えました。

2人の息子は、横浜
と東京での生活を始め
ており、自分の子育て
もようやくひと段落と
なりました。

去年は阪神が38年ぶ
りに「アレ」を達成
し、次回の「アレ」は
このペースだと見るこ
とが出来ないと思う中、
人生の終盤戦は家ネコ
のように楽々と幸せに生
きて行きたいと思っ

でも、少なくとも：
自分の内面内側はこれ
からも豊かになってい
くことができる。今
より少しでも成長進
歩することができ
る：そう考え、歳を取る
のを楽しみにしている
自分がいます。Like a
Rolling Stone：日々、少
しずつ前進していき
たいと思います。



60歳を迎えて

米沢 公江

先日還暦にあたり原
稿を書いてほしいと依
頼がありました。改め
て考えてみると、もう
60歳？と考えてしま
いました。実際、まだ自
分の中では実感が無い
のが半分あり、もうそ
んな年になったかなと
いう思いでいます。自
分が小さいころ、じい
ちゃん、ばあちゃんが
60歳になった時は、今
よりもっと老けていて、
年を感じた事を思
いだします。今自分が、
そんな風に見える？い
やいやそんな年には見
えないじゃないの？心
の中でそう思っています。
60代のお仲間に入っ
たわけですが第2の人生
楽しく、穏やかに過
すことが出来ますよ
うに、と願っています。



山の神さん佐渡大山祇神社を参拝して

公民館長 鈴木 博久

事の始まりは、平成元年
寒沢のしんざん9号に故望
月満さんが寒沢の山の神さ
んが佐渡から来ているので
はと記事に載せました。当
時満さんが山の神さんの祠
の中を調べられました。が
はつきりした資料も無かつ
た様です。お祭りに氏子さ



佐渡大山祇神社にて

神社の日本総鎮守が
四国愛媛県に有るこ
とも解り、まず公民
館新規事業企画とし
てその大山祇神社へ
行こうと言うことで
行ってきました。日
本民族の総氏神とし
て奉られ、古い神社
でしたが、寒沢講中
として参拝、御神札
と御神酒を戴いてき
ました。そして、寒
沢東区として山の神
さんに奉納しました。

どんど焼き

今年のどんど焼きは1
月13日、雪が降る中行
われました。秋のうちに準
備した萱や竹も一緒に組み
込み、立派なやぐらを組
むことが出来ました。夜に
は大雪の中たくさんの方
が集まり、区長のあいさつ
の後還暦を迎えた方々とい
っしょに点火し、瞬間に大



きな火となりました。今年
1年皆様の健康を祈り、い
いどんど焼きができた
と。

その折、「来年は佐渡の大
山祇神社へ行こう」と言
うことで、今年度公民館
長に就任、早速公民館企画
「佐渡大山祇神社参拝旅
行」を計画、長電観光と
調整、夏休みで佐渡が混
んでいてだめとかでやっと10
月9日・10日と日程調整が
出来、14名に故望月満さん
の参加もお願いして佐渡郡
相川町の大山祇神社に寒沢
講中として参拝して来ま
した。佐渡は佐渡金山が
有名で世界遺産にどうのこ
うのと言っていますが、佐
渡金山の守り神として大山
祇神社が7カ所も有り奉ら
れていた様です。参拝し
た神社も江戸時代に崇拝さ
れた古い神社ですが、当時
は彫刻の立派な拝殿で敷地
も広く神社の狛犬も有り、
地区の人に管理されている
ように感じました。佐渡
の大山祇神社は木花開耶姫
命さんで寒沢の山の神さん
として「寒沢を土砂崩れ
から守ってもらっている、
又おいしい水を飲ませても
らっている」そして寒沢
の繁栄を見守っている。こ
の事から引き続き信心して
行きたいと思えます。そ
して、今年7月、山の神
さんの新鳥居を建立しまし
たが、ここ数年コロナの影
響でお祭りも神楽引きや獅
子舞も無く寂しい寒沢です
が、少子高齢化で祭祀団も
以前の活躍は出来ないかも
知れません。今から60年ほ
ど前、各家庭の長男の子供
達が小若連と称してお祭
りに前に「お灯明銭」をも
らいに各家を訪ねてお祭
りの祭具の修理をしたりし
て、余ったそのお金でノー
トや鉛筆を買ってもらい、
当時鉛筆は短くなってもま
だ使える、教科書も兄弟で



佐渡金山にて

集 原稿のご協力
編 後を頂いた皆様あり
た。 がとうございまし
た。

能登半島地震に被災された
方々にお見舞い申し上げます。
「コロナも落ち着き始めたところ
にインフルエンザ、元旦の能登半島
地震とまたまた落ち着きませんが、今年もお体に
気を付けてお元気にお過ごし
ください。」